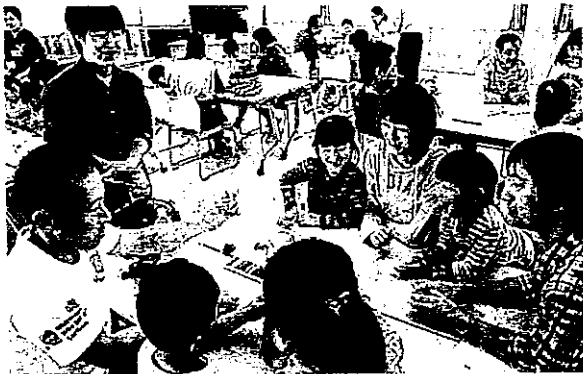


親子連れらが 理科実験体験

袋井、講師は大学生
袋井市内の小学生が
理科実験の面白さに触
れる「お理工塾」が17
日、同市豊沢の豊沢ふ
れあい会館で開かれ
た。地元の親子ら約10
組が参加し、「人工イ
クラ」とスライム作り
を楽しんだ。

人工イクラは塩化カ
ルシウム溶液に垂らし
たアルギン酸ナトリウ
ム溶液が薄い膜を張
り、丸くなって固まる
仕組み。児童は一瞬で
水滴が固まる様子に



実験を楽しむ親子ら
＝袋井市豊沢の豊沢ふれあい会館

「すごい」「きれい」
と思わず声を上げた。
赤、青、黄色など思い
思いにアルギン酸ナト

「科学実験工房」の学
生4人が務め、物質の
働きや実験の進め方な
どを丁寧に説明した。

リウム溶液
を着色し、
色とりどりの人工イクラを作って遊んだ。スライムは洗濯のりとホウ砂を使った。
講師は静岡理工科大物質生命科学科の住谷実教授と学内サークル